

## 第 171 回 計測技術委員会議事録（案）

日 時 令和 3 年 7 月 30 日（金） 14:00～16:10

場 所 Zoom によるオンライン開催

出席者 委員長 仲嶋（福山大）

副委員長 山田（産総研）

委 員 井上（三菱電機）、河村（アンリツ）、佐山（防衛大）、福本（佐賀大）、藤井（NICT）  
布施（電中研）、松村（日大）、水野（電通大）

顧 問 大谷（日大）

幹 事 作本（日大）、今池（日大）

幹事補佐 小平（日電検）、白井

### 資 料

171-1 第 136 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会報告

171-2 2022 年度 計測技術委員会活動計画一次案

171-3-1 2022 年度 計測研究会実施計画一次案

171-3-2 2022 年度 IEEE 学生研究発表会実施計画

171-4 2021 年度 計測技術委員会活動状況

171-5 電気学会 研究会企画連絡シート（11 月開催分）

171-6 令和 4 年度 基礎・材料・共通部門 活動資金申請書

171-7-1 「研究会の今後のあり方」（第 2 案）に関するコメント・ご質問の集約のお願い

171-7-2 電気学会研究会の今後のあり方について（第 2 案）

171-8-1 技術委員会 HP 英文化のための紹介内容作成のお願い

171-8-2 計測技術委員会 紹介内容（案）

171-9-1 論文のオープンアクセス化に関する意見提出のお願い

171-9-2 論文のオープンアクセス化の検討について

### 議 事

#### 1 前回議事録の確認

異議なく承認された。

#### 2 運営委員会報告

仲嶋委員長より資料 171-1 に基づき説明があった。

・第 136 回運営委員会（7 月 1 日開催）がオンラインで開催され、次の報告があった。

・共催等の依頼の応諾に関する規程細目について、承認を行う者に関する一部改正があった。IEEE の協賛が、本部協賛に該当するか否かを作本幹事に確認していただく。

・全国大会論文募集ポスターイラスト版について、一定の効果が得られたことから今後も継続する。

・令和 2 年度及び 3 年度の研究会資料年間購読数から、計測研究会はそれぞれ 49 口及び 51 口で、他の研究会と遜色がないものとなっている。

- ・国際会議の共催等に関する許諾申請の管理表に、当技術委員会の SICE センシングフォーラムへの協賛が掲載されている。同フォーラムへの当技術委員会の対応については、佐賀大学の木本先生に確認中である。
- ・各技術委員会からの活動資金の運用状況が報告された。当技術委員会から、令和 2 年度分の活動資金については実施なしで報告済みである。
- ・令和 4 年全国大会シンポジウムは、A 部門から 4 件が提案済み。今後、当技術委員会からも提案を考えたい。
- ・令和 4 年度の戦略的事業について、予算枠が 500 万円となっている。何か企画があれば申請できる。

### 3 2022 年度計測技術委員会活動計画及び計測研究会実施計画一次案

作本幹事より資料 171-2 及び 171-3 に基づき説明があった。

- ・一次案は 2021 年度を基にほぼ同じ内容で作成している。
- ・見学会は 11 月頃を計画した。
- ・A 部門大会は未定となっているが、例年 9 月頃に開催されている。
- ・計測研究会のテーマと担当は変更が可能である。佐山委員には、6 月の「電磁波計測及びリモートセンシング」の担当をお願いしたい。また、2 月の「光応用計測」の担当は仲嶋委員長と藤井委員の 2 名としているが、追加を含め二次案で検討したい。
- ・2 日間開催の研究会は、11 月と 2 月を予定する。
- ・IEEE 学生研究発表会の開催は計測研究会との兼ね合いがあり、案として資料のとおり計画した。2 回開催のうち、対面開催とオンライン開催を 1 回ずつ開催する方法もあるが、現時点では資料のとおりとする。

### 4 2021 年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料 171-4 及び 171-5 に基づき説明があった。

- ・見学会は、11 月 25 日に佐賀大学海洋エネルギー研究センターを予定する。福本委員から同センターを予約していただいているが、計測研究会が対面で開催できるか否かで見学会の開催が左右される。ただし、研究会を佐賀県内の別の施設で開催する場合は、見学会を予定どおり開催することは可能であるため、予め会場の候補を福本委員に探していただく。9 月上旬には開催場所を決定したい。
- ・6 月の計測研究会は 4 件の発表で開催済みである。
- ・12 月の計測研究会は大学での開催は難しく、新型コロナウイルスの感染状況により会場のキャンセル料が発生することも考慮する必要がある。
- ・学生研究発表会と開催日をずらす必要があることから、計測研究会を 12 月 16 日又は 17 日に高知で開催を計画し、学生研究発表会は 12 月 23 日に開催したい。

### 5 2022 年度活動資金申請について

仲嶋委員長より資料 171-6 に基づき説明があった。

- ・例年どおり、計測研究会における特別講演の謝礼金として申請したい。
- ・今のところ、2022 年 12 月開催の計測研究会の特別講演を対象とする。水野委員に講演者の依頼をお

願います。

#### 6 研究会の今後のあり方について

仲嶋委員長より資料 171-7 に基づき説明があった。

- ・事務局第 2 案によると、参加費は非会員の参加者から徴収し、会員は無料としている。
- ・会員が参加する場合は、参加費 ID を受付で申し出ることとし、事務局が ID を確認する。このため、研究会担当の負担は生じない模様である。
- ・計測技術委員会からは、受付において当日の現金払いがないことと、非会員の参加費 4,000 円では聴講者が減るという懸念を意見として運営委員会に提出する。
- ・その他に意見があれば、8 月末までに仲嶋委員長にメールで提出してほしい。

#### 7 技術委員会 HP 英文化のための紹介内容について

仲嶋委員長より資料 171-8 に基づき説明があった。

- ・技術委員会 HP の英文化については、各技術委員会の設置趣意書を翻訳するが、日本語の原稿を提出する必要がある。
- ・資料 171-8-2 は仲嶋委員長が作成した原稿（案）であるが、2 の活動計画に生体計測関係について記述したものを追加する。追加の原稿作成は水野委員に願います。

#### 8 論文誌のオープンアクセス化について

仲嶋委員長より資料 171-9 に基づき説明があった。

- ・編修委員の日本大学の関先生より、電気学会論文誌のオープンアクセス化に関する意見提出の依頼があった。
- ・オープンアクセスのうち、ハイブリッドであれば著者の希望により選択できるメリットがある。
- ・現状では特に意見はないが、資料を読んで意見があれば、8 月 6 日までに仲嶋委員長にメールで提出してほしい。

#### 9 その他

仲嶋委員長より、2022 年 1 月号の A 論文誌に掲載される特集解説の原稿作成は、委員長、副委員長、2020 年優秀論文発表賞受賞者「佐賀大学 西山氏（福本先生執筆）、工学院大学 加納氏（田中先生執筆）」の 4 名で対応するとの報告があった。

次回 10 月 22 日（金）14 時～17 時 場所 未定

## IEEE 関係議事録

資 料 IM-09 活動報告（2020 年 11 月～2021 年 5 月）

議 事

- ・活動報告は 6 月 18 日の Chapter Meeting に提出済みである。
- ・12 月 23 日に学生研究発表会と総会を開催し、次期役員選挙を行う。役員会から、Chair に山田副委員長、Vice-Chair に今池幹事を推薦するが、公募も行われる。

以 上